

ふるさと応援便

シカ工房 伊藤産業

×

湧別町企画財政課所属地域おこし協力隊

生産者の想い、 全国に届けっ！

北海道オホーツク海沿岸に位置する湧別町。雄大な土地だけでなくサロマ湖とオホーツク海に面しており、漁業・農業・林業など一次産業がとても盛んな町です。そんな小さな町から全国の皆さまへ“生産者の想い”をお届けします。



“自然の恵み”を余すことなく 活用したい

伊藤産業さんは2019年に伊藤栄さん（写真左）と奥様の2人で鹿肉の加工・販売業を始めました。始めてすぐにコロナ禍となったこともあり、うまくいかずに諦めかけたこともあったそうですが、湧別町地域おこし協力隊の田淵徹平さん（写真右）が事業継承することになり、今は伊藤夫妻のサポートを得ながら田淵さんが経営しています。栄さんは、「僕は人に縁がある。田淵君が来てくれて本当にうれしく思うし、これからどんな展開をしていくのかとても楽しみです。」と新体制となった伊藤産業の今後を楽しみにされていました。

事業継承をした田淵さんは、ジビエは面白くて、とても意義のある事業だと思ったので継承することを決意したそうです。右に、田淵さんの考えるジビエ事業の意義をお伝えします。

ジビエ事業の意義

- ① 農業・林業被害対策のコスト抑制
- ② 地域産品のひとつになる
- ③ 持続的な鳥獣管理とハンターの育成

このように複数の意義があるジビエ事業を長く続けていくため、今後は精肉としての販売にとどまらず、鹿の角や皮なども活用して、“自然の恵み”である鹿を余すことなく活用していきたいとおっしゃっていました。現在、ふるさと納税では「鹿の角」が提供されています。インテリアにもなる鹿の角もぜひチェックしてみてください。

